

夢のある暮らしに貢献する商品を提供し続けるコニカカメラ。今年も多様化するユーザーニーズに対応し、感動を創造するカメラを発売しました。

今回はベーシックな2倍ズームカメラ「Z-up 70 Super」、高画質デジタルスチルカメラ「Q-M 100 V」、防水仕様の高画質デジタルスチルカメラ「DIGITAL 現場監督 DG-1」を紹介します。



コニカ Z-up 70 Super



コニカ Q-M 100 V

◆コニカ Z-up 70 Super

『コニカ Z-up 70 Super』は、大変お求めやすい価格のベーシックな2倍ズームコンパクトカメラです。高画質な写真を誰にでも簡単に、また、よりカジュアルに楽しめることを主眼に設計・開発したカメラです。

しかも、コンパクトなボディに実用的な撮影モードを多数搭載しています。さらに、操作は簡単・明快です。誰でも撮りたい時にシャッターを押すだけで、高品質な写真を楽しむことが可能です。

また、円を基調にしたユニークなデザインを採用。シルバーと黒の2トーンカラーがフォルムを引き締めます。

『コニカ Z-up 70 Super』主な特長

- ◇簡単操作の2倍ズームコンパクトカメラ
- ◇円を基調にしたおしゃれなデザイン
- ◇実用的な撮影モードを多数搭載

『コニカ Z-up 70 Super』主な仕様

形 式	ズームレンズ内蔵 35mm レンズシャッター式 AF全自動カメラ
画面サイズ	24mm × 36mm
レ ン ズ	f 35~70mm F5.2~9.8 5群5枚
シャッター	絞り兼用プログラム電子シャッター 約1.7秒~1/350秒
フィルム給送	電動式オートローディング 自動巻き上げ・自動巻き戻し
フラッシュ 撮影範囲	内蔵固定式、低輝度自動発光 f 35mm 0.8~6.4m (ISO400使用時) f 70mm 0.8~3.4m (ISO400使用時)
撮 影 モード	フラッシュ自動発光・ON・OFF、 赤目軽減、ポートレート夜景 +1.5EV露出補正、遠景撮影、セルフタイマー
電 源	3V リチウム電池(CR 123 A) 1個
大きさ 重量	116 × 65 × 42.2mm、210g (電池別)

◆コニカ デジタルスチルカメラ Q-M 100 V

『コニカ Q-M 100 V』は、メガピクセル*1の高画質のみならず、原色フィルターCCDの搭載と、『コニカカラーフィルム』や『コニカカラー百年プリント』などの銀塩写真で培ったカラーマネジメントを活かした新画像処理技術の採用により、鮮鋭性・色再現性・階調性において大好評をいただいております「Q-M 100 V」の高画質をより一層発展させました。

(※1) 撮像素子100万画素以上

特に、108万画素原色フィルターCCDの搭載による肌色再現を中心とした鮮やかな画質と、新画像処理技術による滑らかな階調表現とオートホワイトバランス性能の向上で、銀塩写真ライクな画像を実現いたしております。

また、『Q-M 100 V』の発売にあわせましてコンパクトフラッシュカードとコンパクトフラッシュカードアダプターを新発売し、別売アクセサリーのラインアップを充実させております。

『コニカ Q-M 100 V』主な特長

- ◇新画像処理技術による銀塩写真ライクな画質の実現
- ◇高性能ヘキサノンレンズ (F2.8) の搭載とオートフォーカスによる高画質
- ◇軽量、パスポートサイズなみのコンパクトサイズ
- ◇4枚連写や電子2倍ズームによる機動性
- ◇日中の人物撮影での失敗を防ぐ日中シンクロ機能
- ◇安定した撮影を可能とする光学実像式ファインダー
- ◇テレビに接続できるビデオ出力コードを同梱

『コニカ Q-M 100 V』主な仕様

撮像素子	1/3インチ 総画素数 108万画素 原色 CCD (正方画素)
記録画像	1152 × 872pixel (スーパーファイン、ファイン) 576 × 436pixel (エコノミー)
ファイル形式	JPEG 準拠 (Exiff Ver. 2.0)
記録媒体	コンパクトフラッシュ TM カード
記録コマ数 (4 MB時)	10/20/50枚 (スーパーファイン/ファイン/エコノミー)
ファイルサイズ*注1	約 400KB/約 200KB/約 80KB (スーパーファイン/ファイン/エコノミー)
レンズ	f 6.0mm、F 2.8 (35mm カメラ換算で f 39mm 相当)
焦点調節	オートフォーカス
撮影範囲	0.2m ~ ∞
撮影モード	単写/セルフタイマー/4枚連写注2 /電子2倍ズーム注3
シャッター	1/8 ~ 1/500 秒 (カスタマイズで低速側 2秒まで対応可能注4)
ファインダー	光学実像式ファインダー
露出制御	プログラム AE (7 ~ 16 EV)
ホワイトバランス	像面オートホワイトバランス
フラッシュ	内蔵自動調光フラッシュ (フラッシュ撮影範囲約 0.5m ~ 3.0m) 赤目 AUTO/ON/OFF
液晶モニター	1.8 インチカラー液晶モニター
再生機能	1コマ再生/インデックス再生/2倍ズーム 再生注5/スライドショー再生
入出力端子	電源入力端子、シリアルポート (RS232C 準拠) ビデオポート (NTSC/PAL)
電源	単 3 アルカリ乾電池 4 本 (Ni-Cd、ニッケル水素電池使用可)
大きさ	119(W) × 76(H) × 40.5(D) mm (突起部含まず)
重量	290 g (電池、メモリーカード別)

注1：被写体によりファイルサイズは変化します。
注2：エコノミーモードのみ。
注3：35mm カメラ換算で f 78mm 相当。
注4：別売の QM-PC2 付属ソフトウェアが必要です。
注5：エコノミーモードでは使用できません。

◆コニカ DIGITAL 現場監督 DG-1

『コニカ DIGITAL 現場監督 DG-1』は、工事現場で活躍しているカメラ「コニカ 現場監督」シリーズの新たなラインアップとして開発されたデジタルスチルカメラです。

JIS 保護等級 7 級*2の防水性能やボディ両サイドのほか各要所を硬質ゴム素材で保護するなど、工事現場などの環境で十分な機能を発揮しつつ、携行性に優れたコンパクトなボディを実現しております。

また、108 万画素 (有効画素 100 万画素) の原色フィルター CCD と、コニカ独自のカラーマネジメントを活かした新画像処理技術の採用、さらにヘキサノンレンズ F2.8 の搭載により、鮮鋭性・色再現性・階調性において銀塩写真並みの高画質も併せて実現いたしました。

これらの特長により、土木・建築工事のみならず、アウトドアを中心としたあらゆるシーンで、幅広くご利用いただけます。

また、工事用アルバム編集ソフト「コニカ現場レポー

ター for DG-1 Ver.1.0J」を別売オプション「PC接続キット DG-PC1」にバンドルしております。併せてご利用いただければ、撮影した画像をパソコンで簡単にファイルリングしたり、報告書形式にまとめることができます。

(※2) 1m の水深で30分間放置可能。



コニカ DIGITAL 現場監督 DG-1

『コニカ DIGITAL 現場監督 DG-1』主な特長

- ◇水に強く雨天時の撮影も可能、埃や砂の進入も防止
- ◇鮮明な出力プリントが得られる高画質
- ◇テレビ画面での画像再生が可能

『コニカ DIGITAL 現場監督 DG-1』主な仕様

撮像素子	1/3インチ 総画素数 108万画素 原色 CCD (正方画素)
記録画像	1152 × 872pixel (スーパーファイン、ファイン) 576 × 436pixel (エコノミー)
ファイル形式	JPEG 準拠 (Exiff Ver. 2.0)
記録媒体	コンパクトフラッシュ TM カード
記録コマ数 (4 MB時)	10/20/50枚 (スーパーファイン/ファイン/エコノミー)
ファイルサイズ*注1	約 400KB/約 200KB/約 80KB (スーパーファイン/ファイン/エコノミー)
レンズ	f 6.0mm、F 2.8 (35mm カメラ換算で f 39mm 相当)
焦点調節	オートフォーカス
撮影範囲	0.2m ~ ∞
撮影モード	単写/セルフタイマー/4枚連写注2 /電子2倍ズーム注3
シャッター	1/8 ~ 1/500 秒
ファインダー	光学実像式ファインダー
露出制御	プログラム AE (7 ~ 16 EV)
ホワイトバランス	像面オートホワイトバランス
フラッシュ	内蔵自動調光フラッシュ (フラッシュ撮影範囲約 0.5m ~ 3.0m) 赤目 AUTO/ON/OFF
液晶モニター	1.8 インチカラー液晶モニター
再生機能	1コマ再生/インデックス再生/2倍ズーム 再生注4/スライドショー再生
入出力端子	電源入力端子、シリアルポート (RS232C 準拠) ビデオポート (NTSC/PAL)
電源	単 3 アルカリ乾電池 4 本 (Ni-Cd、ニッケル水素電池使用可)
大きさ	135(W) × 86(H) × 58(D) mm (突起部含まず)
重量	480 g (電池、メモリーカード別)

注1：被写体によりファイルサイズは変化します。
注2：エコノミーモードのみ。
注3：35mm カメラ換算で f 78mm 相当。
注4：エコノミーモードでは使用できません。

Sitios 7040/7140 は、新開発のシートスルー RADF とマルチトレイフィニッシャーを搭載し、ファーストページ処理による高生産性、さらには Konica 7050 から採用し好評の電子 RDH とノンスタック ADU による高い信頼性、コピー予約、メモリーコピー、異系列原稿混載モード、編集等の充実した機能を有するコピースピード毎分 40 枚のモノクロデジタル複写機です。

また、Sitios 7033/7133 は、同様の機能を有するコピースピード毎分 33 枚のシリーズ機です。



◆主な特徴

1 高生産性

ページ順送りができる新タイプ RADF を搭載し、大量原稿でも 1 ページ目からスキャンしながら、即座にコピーを開始します。原稿を循環させてスキャンを完了するシートスルーを採用することにより、高速読み取りと静音化を実現しました。また、マルチトレイフィニッシャーを搭載し、ページ揃え・ソート（丁合い）・グループ（仕分け）・多彩な自動ステイプルで多部数のフィニッシュは勿論のこと、マルチトレイでのスタックや仕分け先を自在にプログラムしたり、大量スタックの際のトレイ自動切換により、コピーワークのトータルタイムを短縮させます。

2 高信頼性

電子 RDH を搭載し、多枚数の原稿もメモリーに読み込み後一括して出力します。複数のセット部数をコピーする場合もスキャンは 1 回だけで、原稿のダメージを最小に押さえながら同時に静音化、省エネ化に貢献します。さらに ADU（自動両面コピーユニット）はノンスタック両面コピー方式により、用紙の循環時間を最小に押さえることで両面コピー時も片面コピー時に迫る生産性を確保すると共に、紙づまりの発生も限りなく“0”に近づけています。

3 高機能とユーザーフレンドリーな操作性

複数ジョブを同時並行処理できる“コピー予約機能”、大量原稿やブック原稿も記憶させてから一括出力できる“メモリーコピー機能”、原稿サイズや用紙セット方向が気にならない“異系列混載モード”と“メモリーローテーション”の機能、週刊誌綴じが簡単に仕上がる“ブックレット機能”、8 枚（4/2 枚）の原稿を 1 枚の用紙に集約コピーできる“8 in 1（4/2 in 1）機能”、また大型液晶タッチパネルを搭載し例えばステイプルの位置指定も表示された仕上がりイメージをワンタッチで選択する様な操作感の向上、汚れにくくハンドリングしやすいワンタッチで交換可能なトナーボトルの採用等お客様にとって更に使いやすくするための機能を充実させました。

4. 拡張性

プリントコントローラを接続することで、400dpi（40 ppm）、600dpi（30ppm）対応の高速印刷を実現しています。また、スーパー G3 対応の高機能 FAX へもバージョンアップ可能で、一般電話回線で高速 3 秒電送のスーパー G3 通信を実現しています。

以上の様に、これから本格的にネットワーク化が進むオフィスに、次世代デジタル標準を目指したマルチアクセスマシン（複合機）と言えます。

高速・高生産性デジタルコピーマシン Sitios 7150

Sitios 7150 は、'97年9月に発売した Konica7060 の姉妹機であり、発売以来市場で好評を博しています。Konica7050 の後継機として、その基本性能を継承しつつ更なる信頼性・機能の向上を目指した高速モノクロデジタル複写機です。



◆主な特徴

1 高速性

Konica7050 で搭載した2ビームレーザー書き込み系に加え、新たに開発したセラミックベアリングによる高速エアポリゴンの採用により A4 で毎分50枚の高速コピー及びプリントスピードを実現しました。

2 高生産性

これまでの電子RDHシステムに加え、画像データの読み込みと出力を同時に処理できるデュアルアクセス機能を搭載しました。これにより、最初のコピージョブの読み込み終了と同時に次の原稿の読み込みが行えるようになりコピー作業時間の大幅な短縮を図ることを可能にしました。

3 高機能

Konica7050 が有している機能に加え、原稿を自動的に回転して出力することで、縦・横両方向の給紙セットを不要にした“イメージローテーション機能”、1枚目の原稿を2枚目以降の原稿に重ね合わせることで、ロゴマーク等の作成に便利な“イメージオーバーレイ機能”、原稿をコピー用紙の適切な位置に自動的に移動させる“原稿位置補正機能”、8枚(4枚)の原稿を1枚の用紙に集約コピーできる“8 in 1 (4 in 1) 機能”、等の採用によりお客様にとって更に使いやすくするための機能を充実させました。

4 拡張性

ビデオインターフェイスユニットを用い、プリントコントローラ (IP-302) を接続することで、400dpi、600dpiともに A4 で毎分50枚の出力が可能な高速プリンターとして使用出来ます。

またタンデムインターフェイスユニットを用いて2台の Sitios7150 を接続すれば A4 で毎分100枚のコピーマシンとして使用することも可能です。

デジタルスチルカメラの普及や、デジタル画像ファイルをパソコンで扱うことが一般化し写真のデジタル化が急速に進んでいます。写真そのものの楽しみ方も撮影した写真をただプリントするだけでなく文字やイラストを書き込んだりすることが普通になって来ています。コニカでは写真画像をデジタル化し露光することにより文字・イラストやフレームの合成を店頭で簡単に行うことが出来るデジタルミニラボシステム「QD-21」をアメリカで開催された PMA'98 で発表し、10月より発売開始しました。

◆QD-21の主な特長

1. 1駒0.8秒の超迅速スキャナー搭載

135 Fから1000×1500画素の画像密度で1駒0.8秒でスキャニング出来る超高速スキャナーを搭載。高速スキャニングで実焼き能力1000枚/時を發揮します。

2. 露光ヘッドにLEDとVFPHを採用

プリンターの心臓部露光ヘッドにLEDとVFPHを採用。300 dpiの高画質でA3までプリントが可能です。2連マガジンによる小サイズの2画面同時露光等の工夫により同一データ連続露光で1800枚/時の高速露光を実現しています。また、2連マガジンに異サイズペーパーをセットしプリントすることも可能です。

3. 超小型フィルムプロセサー

ショートリーダーレス搬送(135)方式を採用しオートフィーダーを標準装備したフィルムプロセサーを標準組み合わせ。超迅速処理との組み合わせにより超コンパクトボディで135-24EXで32本/時の処理能力を發揮。

4. 次世代標準の超迅速処理コニカHQA処理

処理スピードがネガ現像 Dry to Dry 4分22秒、ペーパー現像 Dry to Dry 79秒の超迅速処理を搭載。10分仕上げサービスも可能です。補充方式も錠剤補充のエ

コジェット方式を更に進化させたオールインワンカートリッジの採用で超簡単セットと超安定処理を両立させています。

5. 多彩な入力ソース

ネガは勿論ポジフィルムやプリント、デジタルスチルカメラ、MO、CD-Rom等様々な媒体から画像データが入力可能です。

6. 写真の楽しみと業務を拓げるアプリケーション

撮影したフィルムや画像ファイルからただプリントするだけではお客様から喜んでいただくことは出来ません。背景が付いたA4サイズの印画紙に3駒、4駒、10駒の写真を貼り付けるQファイルプリント、写真の周りに楽しいフレームと一緒に焼き付けたQフレームプリント等、新しい写真の楽しみ方を提案出来ます。また、LANを介して外付けのPC、ターミナルQステーションを接続すればカレンダープリントや画像のCD-R書き込みサービスを始めとし、工事写真アルバム、遺影合成等、写真の楽しみを更に拓げるメニューから業務をサポートするメニューまで幅広いサービスが可能で店の付加価値を飛躍的に上げ、お客様から喜んでいただけることは確実です。

©コニカ QD-21システム



◎Qファイルプリント、Qフレームプリント



Konica QD-21

7. 多彩なアプリケーションを支える簡単操作

いくら多彩なアプリケーションを備えていても使い方が難しくは何にもなりません。

QD-21は簡単操作がコンセプトです。指で触れるだけのタッチパネルモニター採用をはじめ、すべての操作が絵表示と文字でわかりやすく表示され、対話式で進むので難しい操作を覚える必要もありません。触ったその日からすべての操作を行うことができます。

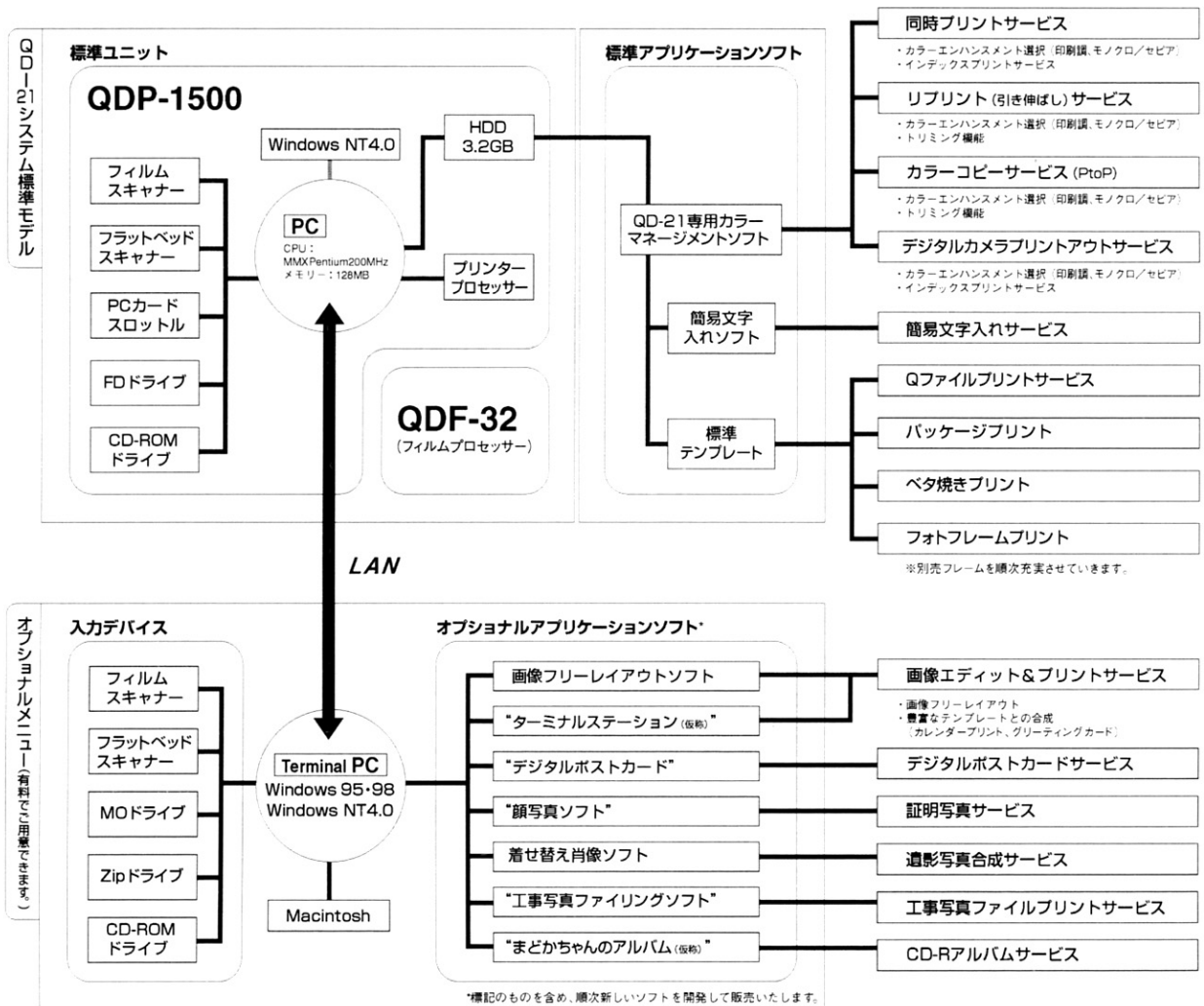
8. 多彩なアプリケーションを支えるワンチャネルスキャナー&カラーエンハンスメント

多彩なアプリケーションをこなすためには操作が簡単だけでは不十分。出力画像をモニターで確認できることは当然ですが、各種ネガはもちろんあらゆるデジタルスチルカメラやさまざまなスキャナーから取り

込んだ画像を綺麗な色でプリント出力できるカラー判定アルゴリズム搭載。面倒な操作なしで、美しい画像が一度で出力できます。

単に綺麗なプリントを得られるだけではなく、お客様の希望や絵柄の雰囲気に合わせた階調調整や、さらにはセピア・B/Wといった加工も簡単操作で思いのままです。今後お客様の希望にあわせ新しいエンハンスメントソフトウェアやサービスを充実させていきます。時代の要請にあわせ、新しいソフトウェアをインストールして行けばいつまでも古くならない。これもデジタル画像処理における大きな特長のひとつといえるでしょう。いつまでも古さを感じさせないミナラボとしてご使用いただけるようソフトウェアの充実に努力し、デジタルの最先端を走り続けます。

◎QD-21のシステム構成・サービスメニュー



コニカは、新開発の ISO 感度 800 のカラーフィルムをはじめ、135 サイズの 4 つの感度のラインアップを「CENTURIA (センチュリア) シリーズ」に統一し、新しいブランドとして新発売いたしました。

従来、コニカカラーフィルム (135 サイズ) は LV・JX シリーズをメインに販売しており、市場では、その安定した品質に高いご評価をいただいております。

「CENTURIA シリーズ」は、その LV・JX シリーズで培った品質の安定を継承し、フィルムの特性である“色再現性・保存性”をさらに高める新技術によって生まれた全く新しいカラーフィルムです。

今回、一斉新発売したカラーフィルムは、ISO 感度が 100/200/400/800 の 4 種類で、単品とパック品をラインアップしました。

これら充実した商品構成により、お客様の選択のバリエーションをこれまで以上に拡大してまいります。

「CENTURIA シリーズ」の高い品質を実現した主な新技術は、以下のとおりです。

1. CENTURIA Crystal

ハロゲン化銀結晶の構造を精密に設計・制御した先進のハロゲン化銀結晶技術。

2. CENTURIA カプラー

最適な分子設計から開発された高い反応性と高い安定性を両立させた先進のカプラー技術 (発色技術)。

3. CENTURIA DIR カプラー

現像時に放出される抑制物質の拡散性を従来より制御しやすくした先進のコントロール技術。

このような、新技術により開発された「CENTURIA」シリーズの主な特長は、以下のとおりです。

() の商品は、代表的な対象商品です。

●保存性の向上による有効期限の延長 (CENTURIA 100/200)

フィルム生産時に設定される「有効期限」が当社 LV シリーズと比べ、3 ヶ月間長く設定され「生保存性」が飛躍的にアップいたしました。

撮影後の「潜像安定性」も向上し、ミニラボ等での処理がさらに取り扱いやすくなりました。

●色再現性の向上 (CENTURIA 100/200)

あらゆるシーンで優れた色再現が得られます。特に、「赤」「肌色」の鮮やかで自然な仕上がりが特長です。

●実写感度のアップと露光ラチチュードの拡大 (CENTURIA 100)

アンダーからオーバーまでのさまざまなシーンで優れた描写力を発揮いたします。

●鮮鋭性と粒状性の向上 (CENTURIA 200)

LV200 (現行) から鮮鋭性と粒状性が大きく向上します。スタンダードな ISO100 に加え、「オールラウンド」フィルムとして市場での拡販が見込めます。

●独自の超高感度設計 (CENTURIA 800)

独自の超高感度でありながら、優れた粒状性・色再現性を実現し、あらゆるシーンの撮影に対応できるよう設計されました。

1) ワインレッドやティールグリーン (青緑色) などの中間色を忠実に再現いたします。

2) 蛍光灯下や蛍光灯下でストロボを使用するようなミックス光のもとでも自然に近い色のプリントに仕上がるよう開発いたしました。

●ラボ処理 プリントレベルのユニチャンネル性 (CENTURIA 100/200/400/800) 「CENTURIA 100/200/800」のプリントレベルは、「CENTURIA 400」 (=JX400) とほぼ同一です。よってラボ処理については、LV・JX シリーズと、ほぼ同じ条件で処理を可能とし、操作性を効率化いたしました。

「CENTURIA」とは、CENTURY の造語であり、コニカカラーの新製品フィルムが斬新的、躍進的で新世紀にふさわしい製品であることをイメージしています。新世紀、21 世紀にコニカが躍進する時代であることへの象徴でもあります。

全世界統一ネーミングで新発売することにより、さらなるグローバルイメージを訴求してまいります。



センチュリア
コニカカラー CENTURIA シリーズ (100・200・400・800)

コニカ株式会社